

第4週

Part 1 シーン (scene) を決める

今日はシーン(場)を決めていきます。長い劇だと、1幕 (Act 1)、2幕 (Act 2)、3幕(Act 3)・・・とカーテンが閉じる区切りがあって、それぞれの幕 (act) の中に暗転して場 (scene)が、1幕1場(Act1, scene 1)、1幕2場 (Act 1, scene 2)、1幕3場 (Act 1, scene 3)・・・という風に配置されるのですが、今回の劇は短いし、スタジオには幕がないので、基本的に1幕ものとし、ます。ですから幕の切れ目は考えなくても構いません。場の設定だけしてください。

- ☛ それぞれの scene ごとに、

time

place

characters

action

を決めてください。

Part 2 ト書、せりふを考える

- ☛ それぞれのシーンができたら、まずそのシーンの初めに、ト書 (stage directions) を入れましょう。ト書というのは、登場人物の動き、場面の状況、照明・音楽効果などの指定をせりふの間に書き入れたものを言います。ここでは、せりふの間だけではなく、シーンの初めにト書を書き入れます。照明が点灯したときに、舞台がどこで、いつのことか (例えば「夕方の台所」)、舞台には誰が立っていて、どんな様子か (「お母さんが立っていて夕食の準備中」など) を書き入れましょう。ト書は、演出を決める際、とても重要なものです。台本にはこまめにト書を入れましょう。

今日は、台本を仕上げなくても構いません。来週、台本の日本語版を仕上げられるようにしましょう。